

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	さくら一む湯川		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 15日 ～ 2025年 9月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0 (回答者数)	0
○従業者評価実施期間	2025年 9月 10日 ～ 2025年 10月 25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・来所される児童の時間に応じて適した環境整備を行い、スペースの確保を行っている	・来所される児童に合わせて、視覚的に有効な掲示物をその時間のみ貼っておく等の環境整備を行い、スムーズな療育支援を行えるよう整えている。	・来所される児童に合わせていくつかの環境整備のパターンを用意していますが、今後も児童の日々の様子を観察しながら職員間で共有しつつ様々な環境整備の方法を検討していく。
2	・幼稚園へのお迎え等の際には本日の様子をお伝えすると共に、取り組んでいる事などを共有してスムーズな併行利用を心掛けている	・園などへのお迎えの際には保護者様の送りやお迎えが混雑する時間等にはかぶらないように時間設定を行い、少しでもその日の様子を伝達できる時間を設けるよう工夫を行っている。	・今後も来所される児童数によっては、時間調整が難しい場合も予想される為、書類などで簡易的かつわかりやすく情報共有できるような方法も検討していく。
3	・季節に応じたイベント時には施設を開放して、地域の方々にさくら一むに認知していただけるよう進めています	・SNSやチラシを配布することで季節ごとのイベント周知や施設の開放日などをお知らせしている。	・いまだに市内では児童発達支援・放課後等デイサービスというものの認知は浅いと感じる部分もある為、外部へ発信する機会を増やしたり、どのような施設であるのかを写真や文章等でわかりやすく伝えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・回収時期に児童発達支援児童の来所が無かったため、未だにさくら一む湯川の児童発達支援がどのような支援内容、どのような環境であるのかの認知が少ないと思われる。	・児童発達支援事業所として「さくら一む湯川はどのような療育を提供しているのか」という認知があまりされていないと考えられる。	・日々の支援の中でどのような療育支援を提供しているかをSNS等で周知する事を現在継続しており、今後も外部への発信する機会を増やしていくよう取り組んでいく。 また、認知を広めていく事で様々なご家庭等の困り事へのご相談や支援を広げられるように取り組んでいく。
2			
3			